



各 位

会 社 名 株式会社TSIホールディングス 代表者名 代表取締役社長 CEO 下地 毅

(東証プライム市場 コード番号 3608)

問 合 せ 先 経営戦略部 財務広報 IR課 長谷川 俊介

T E L 03 (5785) 6400

2026年2月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日公表しました業績動向と、2025年9月2日に完全子会社した株式会社デイトナ・インターナショナル(以下:デイトナ・インターナショナル)の連結影響を踏まえ、2025年4月11日に公表しました2026年2月期の連結業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 2026年2月期 通期連結業績予想の修正について (2025年3月1日~2026年2月28日)

(1) 修正の内容

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	153,000	5,700	6,000	4,200	60.47 円
実績値(B)	169,000	5,700	6,000	4,200	62.56 円
増減額(B-A)	16,000	_	_	_	
増減率(%)	10.5	_	_	_	
(ご参考) 前期実績 (2025年2月期)	156,606	1,636	2,076	15,230	210.02 円

(2)修正の理由について

本日公表しました「2026年2月期 第2四半期(中間期)決算」と、9月2日付でグループ傘下に入ったデイトナ・インターナショナルの連結影響を踏まえ、前回発表の通期業績予想を修正するものです。 上期までの業績については、先日10月8日に公表した「2026年2月期 第2四半期(中間期)業績連結予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

下期以降の売上高は、引き続き主力ブランドや自社 EC サイト「mix. tokyo」の伸び悩みなどを織り込み、当初計画を下回る見込みですが、デイトナ・インターナショナルの下期連結影響を鑑みて、合計で160 億円増加の1,690 億円になる見込みです。

なお、デイトナ・インターナショナルの完全子会社化に伴うのれん償却影響については、概算で織り込んでおり、上期実績や下期も既存事業の売上高が当初計画を下回る見込みであることなどを踏まえ、営業利益は当初計画を据え置いております。

営業外損益以下については、持ち合い株式等の縮減は進めてまいりますが、現時点で計画外の案件が ないことから、いずれも据え置いております。

以 上